

2013年10月11日

スポーツ復興支援活動レポート

「筑波大学鍋山隆弘剣道教室」

筑波大学 成瀬 和弥

平成25年9月14日（土）・15（日）に、全国大学体育連合の助成を受けて、福島県南会津町で「筑波大学鍋山隆弘剣道教室」を開催した。この教室は、福島県内の剣道を愛好する中学生・高校生を対象に、筑波大学准教授の鍋山隆弘（教士7段）が講師となって開催され、2日間でのべ68名の中高生が参加し、共に汗を流した。



福島県内の多くの中学校・高校では、生徒の転出が後を絶たず、部活動の存続が危ぶまれる状況にある学校が多々見受けられる。また、さまざまな種目の部活動で、部員数が一桁のという学校も多くあり、専門的な指導ができる人材（指導者）も限られているため、慢性的に充実した活動ができないという問題を抱えている。



そのようななかで、今回の剣道教室には、のべ68名の剣道を愛好する中高生が集まり、非常に活気のあるものとなった。日頃は各学校で、少人数での練習しかできない生徒にとって、30～40人が一堂に会し練習することは、非常に刺激になったようである。鍋山氏の論理的で懇切丁寧な指導は言うまでもないが、多くの仲間と一緒に剣道ができること自体が貴重な体験となり、楽しかったようである。



また今回の助成のおかげで、指導補助として、筑波大学大学院博士後期課程1年の中島郁子氏（剣道5段）と筑波大学大学院博士前期課程1年の中村春貴氏（剣道4段）の2名も参加できたため、より充実した指導が展開された。

参加した生徒の中には、剣道を始めたばかりの初心者から大会での上位進出を目指す者まで、さまざまなレベルの生徒がいた。そのため指導内容は、防具のつけ方や礼儀作法といった基礎から試合に役立つより実践的な内容までを幅広く扱い、生徒の多様なニーズに対応した教室となった。参加した生徒たちは、当初はやや緊張した面持ちであったが、教室が始まると、鍋山



氏の卓越した技術と理論に触れ、目を輝かせながら、一心に練習に励んでいた。

中学1年の男子生徒が、身体の高さが倍近くもありそうな鍋山氏に、真剣に勝負を挑む姿は、微笑ましくもありながら、心から応援したくなる光景であった。



また、この教室では、引率の教員（指導者）にも大変な刺激となったようである。鍋山氏の理論と実践に基づく指導の様子をビデオで撮影するなどして、今後の自分の指導に生かすべく、非常に熱心に聴講していた。教室に参加した生徒と同等かそれ以上に、引率の教員も熱心に参加していたように感じられた。引率の教員間の交流も頻繁に行われ、多くの情報交換をする機会を提供できた点も成果であったと思われる。

今回助成をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。

